



## ご挨拶

第29回日本産婦人科・新生児血液学会  
学術集会会長 杉浦 真弓

このたび、第29回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会長を拝命いたしました。歴史あるこの学術集会を開催する機会をいただき大変光栄に存じます。

2019年6月7日（金）、8日（土）の2日間の日程で、名古屋駅に隣接した「JPタワー名古屋」において開催いたします。この学会は凝固線溶系を中心とした血液疾患をテーマに、生殖、周産期、腫瘍、新生児分野の研究者が基礎から臨床にわたる幅広い研究成果の発表や意見交換を行う貴重な場として発展してきました。

教育講演1では北海道大学免疫・代謝内科学渥美達也教授をお招きして「抗リン脂質抗体症候群」をご講演いただきます。教育講演2では本学会でご活躍されている奈良県立医科大学嶋緑倫教授がN Eng J Medに発表された「血友病Aの新たな治療」についてお話しいたします。ワークショップ1では「不育症のトピックス」として、日本産科婦人科学会特別臨床研究として行われたPreimplantation genetic testing for Aneuploidy (PGT-A)の結果の一部を含めた最近の話題をお話しいたします。ワークショップ2は「新生児・乳児貧血のトピックス」を企画していただきました。

昨今、日本発の医学論文が減少傾向にあり、日本の医学・医療の将来が懸念されます。本学術集会が研究の素晴らしさ、大切さ、本当の楽しさを若い世代に伝える機会になるように教室員一同誠心誠意、準備を進めております。「研究の真の楽しさを知る」を本学術集会のテーマといたしました。

名古屋での本学術集会の開催は初めてとなります。名古屋城、その城下の金シャチ横丁、ひつまぶしをはじめとした名古屋めしなど魅力満載です。多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

令和元年6月の名古屋で多くの会員の皆さまにお目にかかれるのを楽しみにしています。